

安保法制強行4年目!! 9・19演説会&デモ

安倍首相の9条改憲 ストップ!
市民と野党の共闘で安保法制廃止へ!



先の参議院選挙で、立憲野党と市民は共同して、憲法改悪に不可欠な議席の3分の2を阻止しました。市民の憲法改悪に対する明確な意思表示です。安倍政権・与党は、この結果を真摯に受けとめるべきです。

安倍政権の改憲のねらいや安保法制強行に対して、立憲野党各党と市民連合は、13項目の合意をつくり、全国の1人区で統一候補を立ててたたかいました。低投票率や、改憲勢力の後退を大きくつくれなかった事など、悔しい思いをしている市民も少なくないでしょう。しかし、この間の市民運動が世論を作り、野党の共同と結びついて、アベ政治に打撃を与えた事は間違いありません。

しかし、選挙後安倍政権は、改憲への意欲を声高に示し、個別議員工作を示唆するなど改憲に固執しています。さらに、韓国問題を中心に東北アジアでの緊張をことさら強め、イラン制裁の「有志国連合」への参加も要請されています。

安保法制＝戦争法強行から4年となる9月19日。いっそう共同を広げて、安倍政権の改憲策動ストップ、戦争する国はNO!と、声をあげましょう。

とき **9月19日(木)**

午後 6時30分～ 街頭演説

午後 7時～ デモ出発(四条河原町まで)

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 安保法制廃止をめざす市民アクション@きょうと